

区分	あゆむ2 チェック項目	事業所の現状評価					保護者の方の評価（配布数17人・回答数17人）				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	工夫した点 改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	保護者からのご意見		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分確保されているか	100				小集団活動する部屋と奥に和室、洋間があり個別活動やクールダウンが必要な時にはその部屋に移動している。	64.7	23.5	11.8	スペースが狭いように思います。少し狭いようです。建物の面積に対して利用者が多くなると仕方がないと思う。室内活動には人数が多いようなので狭く感じます。以前デイの中を見せて頂きました。広々として解放感がありました。	小集団活動で運動などをする際には机や椅子を片付けて場所の確保に努めます。
	2	職員の配置数や専門性は適切である。	100				配置基準の常勤数に加えて必要時は非常勤職員も配置している。 (児童指導員2名と看護職員1名、指導員1名の配置) 職員名札をつけており、名札に職種を明記しわかりやすいようにしている。	64.7	35.3	0.0%	利用人数が多くなると（特に長期休暇時中）配置人数は少なめに感じる。 職員の数が少ないと思います。 職員さんが何人いらしゃるかははっきり知っているわけでもないのだから分りません。	送迎時等に職種と名前を伝えるようにします。 例) 児童指導員の〇〇です。
	3	事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリーの配慮が適切になされているか	25.0	75.0			段差はなるべくなくし、肢体不自由児も利用しやすいように配慮はしている。	88.2	11.8	0.0%	トイレにも手すりがあったほうがいいのではないのでしょうか。 玄関先も広く段差も少ないのでどんな状態の子どもでも過ごしやすいのでは。	トイレの手すりは検討してみます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）への職員の積極的な参加	100.0				ミーティングを毎日行い確認と振り返りを行っている。					より充実した支援に繋がるように継続実施を来ないます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	75.0	25.0			毎年ガイドラインのアンケートや日々の保護者の会話から意見を聞いて改善している。					第3者委員会の外部評価を積極的に実施していきたいと思っています。
	3	職員の質の向上を行うための研修機会の確保	75.0	25.0			希望する研修会には積極的に参加できるようにしている。					研修機会の確保と自己研鑽に励みたいと思っています。
適切な 支援の 提供	1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後デイサービス計画が作成されているか	100.0				利用時や家庭、学校の様子も聞いて、サービス等利用計画の支援目標も参考に作成している。	88.2	11.8	0.0	モニタリングやニーズなどを把握したうえでサービス計画に盛り込まれている。	モニタリング時や関係機関との面談の際に保護者にもわかりやすい言葉でお伝えするようにします
	2	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画の作成	100.0				毎日、個別と小集団活動は取り入れている。					
	3	チーム全体で活動のプログラムの立案	100.0				利用児の要望にどうしたら近づけられるか相談し合う。毎月新しい活動を取り入れる。					
	4	活動プログラムを”固定化”しないように工夫されてるか	100.0				「お話ししましょう」の活動で月1回利用児の要望を聞きとり翌月リクエストに応えたり、形式を似せたりしている。主に長期休業時に取り入れている。	94.1	5.9	0.0	駄菓子屋さんごっこを取り入れて欲しいです。いつもいろいろな活動で楽しそうです。活動はいつも違って子どもたちも飽きることなく過ごせているようです。	新しい活動を実施する時には内容の目的等を直接お伝えする機会を増やして説明します。
	5	平日・休日・長期休暇に応じたきめ細やかな支援	100.0				ゆとりを持ったスケジュールで、放課後時にはできないプログラムを取り入れる等している。					時間が長いので放課後ではできない活動（外出活動や遠足等）を取り入れていきたいと思っています。

適切な支援の提供（続き）	6	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100.0			職員間のミーティングを毎日行い、当日の活動の確認と役割分担、終了後には振り返りを行い次回の活動に生かせるようにしている。						活動前後にミーティングを実施し、その日の役割分担や活動内容の確認（準備物も含めて）を行っている。
	7	支援終了後における職員間でその日の支援の振り返りや気づいた点等の情報共有	50.0	50.0		記録担当者または活動を担当したものが、当日もしくは翌日の午前中に記録し、児童発達管理責任者が確認を行っている。						また活動実施後についても児の活動時等の様子や自由時間の状況について各自が報告しみんなで共有しています。
	8	日々の支援に関して成膜な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	75.0	25.0								今後もこのようなPDCAサイクルを常に意識し、個別支援計画やモニタリング時やサービス利用計画にも反映していきたいと思います。
	9	定期的なモニタリングの実施や放課後等デイサービス計画の見直し	75.0	25.0		長期休暇時のみの利用者については難しいが適宜実施している。						
	10	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50.0	50.0		長期休暇時等には市立図書館や児童館（市内外）に行き交流の場を設けている。しかし積極的に一緒に活動する機会はないので検討していきたい。	41.2	58.8	0.0	児童センターのクラブを利用してりしています。その活動に参加を聞いていません。		交流や活動する機会を設けた場合には保護者にお写真等を送付したり入り口に掲載します。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害者相談支援事業所のサービス担当者会議の参画	50.0	50.0		サービス担当者会議の参画は双方の日程の都合で難しい。しかし長期休暇時の関係機関連携会議には出席するようにしている。						サービス事業所・相談支援事業所・学校等の関係機関の日程調整を早めに行い実施できるよう努めます。
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子どもを支援している場合） 地域の保健・医療・障がい福祉、保育、教育などの関係機関と連携して支援の実施	50.0	50.0		医療的ケア児や重度心身障がい児が4人利用されており、相談支援事業所や関係機関との連携を図るよう努めている。						体制が整った場合にご利用をいただいております。専門職が確保できるよう努力をしたいと思います。
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子どもを支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制の整備		100.0		主治医の先生とは保護者を通じて書類の確認などの方法で取っている。						（医療的ケア児対象の放課後等デイサービス事業所ではないので）
	4	放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容の十分な情報共有	50.0	50.0		年1回は長期休暇時等にそれぞれの学校から来ていただいて相談支援専門員と一緒に関係機関連携会議を開催し情報の共有を図っている。全員実施できるように改善する。						スムーズな移行ができるよう関係機関連携会議の開催を実施いたします。
	5	他の障がい福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供		100.0		転勤などの際には転出先の放課後デイサービス等に保護者の了解の基、連携を図っている。						個人ファイルを活用し日々の様子などをお伝えしていき情報の共有を図りたいと思います。
	6	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	75.0	25.0		年に数回市外の発達支援センター主催の研修会に参加をしている。						モニタリングや関係機関連携会議、送迎時等に顔を合わせる機会を増やしたいと思います。

(続き)	7	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	25.0	75.0			法人としては大洲市主催の「市民のつどい」に参加をしている。					ハロウィン時には近隣の商店等に行くことはあるが、保護者の意見も聞いて実施したいと思います。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	75.0	25.0			利用時に児童発達管理責任者から説明を行っている。	82.4	11.8	5.9	メモに書いたりではなく直接話して説明をして欲しいと思います。忙しいのはわかりますが。契約時にさせていただいています。	更新時に受給者証を保護者と確認して不明な点があれば説明を行います。
	2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100.0				利用時に気になったこと、保護者から気をつけて欲しいこと等は個人ファイルでやりとりを行っている。	70.6	29.4	0.0	ファイルに少しでもいいのでこんな活動をしました。と伝えて頂いたらと思います。出来るようになったことなど。親が伝達を忘れることがある。情報の伝達は専用のファイルでさせていただき、また必要時に電話等で話しています。	個人ファイルを今後も充実していきたいと思います。
	3	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25.0	75.0			モニタリング時に保護者に面接を行っている。送迎時を利用して相談支援の機会を設けるようにしている。	82.4	11.8	0.0	面談は少ないと思います。指導員と話せる機会が少ない。	モニタリング時や関係機関連携会議、送迎時等に顔を合わせる機会を増やしたいと思います。
	4	保護者に対する対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		100.0			愛媛県が委託して実施されているペアレントトレーニングの紹介をその都度入り口に掲載している。					成長の見通しや経験からくるアドバイスも役に立つので積極的に参加を勧めていきます。
	5	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連係が支援されているか	25.0	75.0			一部の保護者の方に父母の会について提案したが前向きなお答えはいただけなかった。学校や地域での会で手一杯と言われる。	23.5	64.7	11.8	年に1回くらいはあゆむ・あゆむ2の親の交流会があったらいいなと思っています。	保護者の意向に耳を傾けながら検討していきたいと思います。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75.0	25.0			重要事項説明書にて丁寧に説明を行っている。利用時の個別ファイルで苦情が記載されていた場合は直接児童発達支援管理責任者が対応しご理解が得られるよう改善している。 子どもについては気持ちを聞きとり改善策を提示したり、環境を整えて対応している。	70.6	29.4	0.0	連絡を取ったり連絡をもらった時等説明してもらえるのは助かります。 利用時にスタッフさんから口頭でも伝えていただいています。	苦情については入り口に掲載しておりますが送迎時にも声掛けするなどして把握に努めたいと思います。
	7	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	75.0	25.0			利用時に気になったこと、保護者から気をつけて欲しいこと等は個人ファイルでやりとりを行っている。 子どもについては言葉での意思表示が困難な児については写真や絵カードの利用、スケジュールボードの作成をして意思の疎通や自己選択、見通しなどに役立てている。	70.6	29.4	0.0	説明がされて有事の際はきちんと報告していただいています。	個人ファイルのより一層の充実に努めます。
	8	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか	100.0				年に数回活動の様子を掲示したり保護者に配布している。活動概要や行事予定は月末に利用者全員に配布している。自己評価結果についてはホームページに掲載している。	82.4	11.8	0.0	Facebookや広報誌等で子どもの様子を見れて安心しています。	活動の様子をA3用紙から印刷で年3回～4回広報を発行し、イベント時についても入り口に掲載するなど継続して実施したいと思います。

（ 続 き ）	9	個人情報に十分注意をしているか				個人情報の管理は鍵のかかる場所で行っている。関係機関との情報共有については同意を頂くようにしている。	88.2	11.8	0.0	契約時に見せて頂いたと思いますがすみません。覚えていません。	個人情報の保護については十分注意を払っていきたいと思います。	
	非 常 時 の 対 応	1	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを作成し、保護者に周知・説明しているか	75.0	25.0		目につきやすい入り口に置いており、待ち時間にいつでも手に取りやすい状態にしている。	70.6	29.4	0.0		引き続き入り口に各種マニュアルを置いています。待ち時間などに手に取ってご確認ください。
		2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		100.0		年に2回実施し消防署の方にわかりやすくお話もしていただいています。実施後は保護者の方への周知を行っています。	94.1	5.9	0.0	避難訓練は定期的にされていて安心です。	最低でも年2回は実施したいと思います。
		3	虐待防止のための職員研修機会の確保など適切な対応	50.0	50.0		愛媛県が主催の虐待防止に関する研修会に参加したものが事業所で伝達研修を実施している。					
		4	やむをえず身体拘束を行う場合における組織的な決定と子どもや保護者に事前に十分な説明・理解を得たうえでの放課後等デイサービス計画の記載	50.0	50.0		基本的に身体拘束はしない。					
		5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	75.0	25.0		アレルギーのある児童は保護者と連携し長期休暇時等は自宅からお弁当を持って来てもらっている。 またクッキングの時はアレルギーの除去を排除（卵）弁当注文時には物質の排除（エビ）は行っているが医師の指示書に基づく対応までは実施していない。					
		6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	75.0	25.0		作成し、再発防止に努めている。					
満 足 度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	100.0			児の特性に応じた活動内容を実施しています。また視覚化や構造化を用いてスムーズに取り組めるよう配慮をしています。	76.5	23.5	0.0	その日の活動は前もって知ることができるので楽しみが増えます。 とても楽しみにしていて迎えに来てもらう時間を心待ちにしています。 ニコニコクラブは楽しんでいるようです。先生が怖いので行きたくないと言った日もあります。活動の内容にもよりますが。	継続して特性に応じた活動の提供を行いたいと思います。	
	2	事業所の支援に満足しているか	75.0	25.0		毎月どんな活動をしたかを子ども達に聞いて取り入れるようにしている。	82.4	17.6	0.0	子ども達が楽しかったと言うので満足しているのだと思います。 苦手な事を少しずつ挑戦させてもらったり、楽しく過ごさせてもらっていることとても満足しています。 先生達が子ども達と会話をする時間が短いように思います。一人一人に目を向けて楽しい！と子どもが言ってくれたらいいんですが、あまりその言葉を聞いたことがないです。子どもからは。	児の意思を反映し楽しんで活動に取り組めるようにしたいと思います。	